

問 5 前の問 4 とは逆に、家族等から、治療の選択について代わって判断してもらいたいと頼まれた場合、引き受けますか。(○は一つ)

- 1 引き受ける 2 引き受けようとは思わない 3 わからない

問 6 あなたは、自分が判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、受けたくないか、あるいは、あなたに代わって誰に判断してほしいかをあらかじめ記載した書面について、どのように扱われるのがよいと思いますか。(○は一つ)

- 1 そのような書面に従って治療方針を決定することを法律に定めてほしい
2 書面がある時はそこに記載した希望を尊重して、家族等と相談することなく医師又は医療・ケアチームが治療方針を決定してほしいが、法律の制定は必要ない
3 書面がある時はそこに記載した希望を尊重して、医師又は医療・ケアチームが家族等と相談の上治療方針を決定してほしいが、法律の制定は必要ない
4 その他(具体的に)
5 わからない

【ここから先の質問では、あなたご自身が回復の難しい状態になった場合の、医療に関するご希望を伺います。】

問 7 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

—あなたの病状—

末期がんと診断されましたが、少し疲れやすいものの、食事もよくとれ、痛みもなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

—医師の見解—

「回復の見込みはなく、徐々に状態が悪化して死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問 7-1 どこで療養したいですか。(○は一つ)

- 1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 7-2 これから、どのような方針での医療を希望しますか。(どの方針であっても、できるだけ痛みや呼吸の苦しきなどの不快な症状を和らげる医療は行います。)(○は一つ)

- 1 がんを治すことを目的とした医療
2 少しでも長く生きることを目的とした医療
3 自分のやりたいこと、自分の生活を優先した医療
4 このまま自然に死を迎えるような医療
5 わからない

問 8 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

－あなたの病状－
 末期がんと診断され、状態は悪化し、今は食事がとりにくい、呼吸が苦しいといった状態です。しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。
 －医師の見解－
 「回復の見込みはなく、さらに状態は徐々に悪化して死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問 8-1 どこで療養したいですか。(○は一つ)

- 1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 8-2 下記ア～クの治療を望みますか。(○はそれぞれ一つ)

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない
ア 副作用はあるが、多少なりとも悪化を遅らせることを期待して、抗がん剤や放射線による治療			
イ 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			
ウ 口から十分な水分をとれなくなった場合の点滴			
エ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、太い血管に針で管を刺して栄養剤を入れること（中心静脈栄養）			
オ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること（経鼻栄養）			
カ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること（胃ろう）			
キ 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること（言葉を発声できなくなります）			
ク 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置（心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと）			

問 9 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

－あなたの病状－

慢性の重い心臓病が進行して悪化し、今は食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態です。しかし、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

－医師の見解－

「回復の見込みはなく、徐々に悪化して死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問 9-1 どこで療養したいですか。(○は一つ)

- 1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 9-2 下記ア～キの治療を望みますか。(○はそれぞれ一つ)

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない
ア 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			
イ 口から十分な水分をとれなくなった場合の点滴			
ウ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、太い血管に針で管を刺して栄養剤を入れること(中心静脈栄養)			
エ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)			
オ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)			
カ 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなります)			
キ 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)			

問 10 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

－あなたの病状－

認知症が進行して悪化し、自分の居場所や家族の顔が分からず、食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態にまで衰弱が進んでいます。

－医師の見解－

「回復の見込みはなく、徐々に悪化して肺炎などで死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問 10-1 どこで療養したいですか。(○は一つ)

- 1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 10-2 下記ア～キの治療を望みますか。(○はそれぞれ一つ)

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない
ア 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			
イ 口から十分な水分をとれなくなった場合の点滴			
ウ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、太い血管に針で管を刺して栄養剤を入れること(中心静脈栄養)			
エ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)			
オ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)			
カ 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなります)			
キ 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)			

問 11 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

<p>—あなたの病状—</p> <p>交通事故で強く頭を打ち、既に半年間以上意識がなく、管から栄養をとっている状態ですが、衰弱が進んでいます。</p> <p>—医師の見解—</p> <p>「回復の見込みはなく、いずれ肺炎などで死に至る。」とのことです。</p>
--

お考えに近いものを選んでください。

問 11-1 どこで療養したいですか。(○は一つ)

- 1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 11-2 下記ア～ウの治療を望みますか。(○はそれぞれ一つ)

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない
ア 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			
イ 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につな げること（言葉を発声できなくなります）			
ウ 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置（心臓マッサージ、心臓への 電気ショック、人工呼吸などを行うこと）			

問 12 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

<p>—あなたの病状—</p> <p>交通事故で全身を強く打ち、一時呼吸も心臓の動きもとまった状態になりましたが、 処置により心臓の動きは戻りました。集中治療室に入って2週間が経過した現在、意識 はなく、気管から管を入れてつけている人工呼吸器がなければ呼吸ができません。栄養 や薬などを入れるため、首から点滴の管が入っています。</p> <p>—医師の見解—</p> <p>「あらゆる治療を行っているが、効果がなく、このまま徐々に死に至る。」とのことです。</p>
--

下記の治療を望みますか。(○は一つ)

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない
薬の量や呼吸の補助のための機械の設定を増やすなどの更なる治療			

<フェイスシート>

最後に、あなたご自身のことについてお答えください。

1 性別

1 男性 2 女性

2 満年齢

- | | |
|-----------|------------|
| 1 20-24 歳 | 7 50-54 歳 |
| 2 25-29 歳 | 8 55-59 歳 |
| 3 30-34 歳 | 9 60-64 歳 |
| 4 35-39 歳 | 10 65-69 歳 |
| 5 40-44 歳 | 11 70-74 歳 |
| 6 45-49 歳 | 12 75 歳以上 |

3 婚姻状況

- 1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別

4 同居している方はいらっしゃいますか

- 1 いる 2 いない

(補問) (1 と回答された方) 同居しているのはどなたですか。あてはまる回答全てに○をつけてください。

- | | |
|--------|----------|
| 1 夫又は妻 | 6 娘の夫 |
| 2 父母 | 7 兄弟姉妹 |
| 3 息子 | 8 孫 |
| 4 娘 | 9 その他の親族 |
| 5 息子の妻 | 10 その他 |

5 あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。中退、在学中も卒業とお考えください。

- 1 中学 (小学校・高等小学校を含む)
- 2 高校 (旧制中学を含む)
- 3 短期大学、高等専門学校・専門学校 (高卒後 3 年以内の教育)
- 4 大学・大学院

6 あなたの世帯全体の年間収入 (税込み) はおよそどのくらいですか。次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○は一つ)

- 1 100 万円未満 (月額 8 万円未満)
- 2 100 万円～300 万円未満 (月額 8 万円～25 万円未満)
- 3 300 万円～500 万円未満 (月額 25 万円～42 万円未満)
- 4 500 万円以上～1000 万円未満 (月額 42 万円～83 万円未満)
- 5 1000 万円以上 (月額 83 万円以上)
- 6 わからない

- 7 あなたは最近 5 年間に病気やけがで入院しましたか。(○は一つ)
- 1 入院した 2 入院していない
- 8 身近なご家族で最近 5 年間に病気やけがで入院した方はいましたか。
- 1 いる 2 いない
- 9 あなたは、最近 5 年間に身近な大切な人の死を経験しましたか。(○はいくつでも)
- 1 家族を亡くした
 - 2 親戚を亡くした
 - 3 友人を亡くした
 - 4 経験していない

長い間ご協力くださりまして、ありがとうございました。

人生の最終段階における医療に関する意識調査（案）

施設票（医療機関、介護施設の施設長が回答）

あなたの施設の体制についてお伺いします。

問1 あなたの施設では、死が間近な患者の治療方針について、医師や看護・介護職員等の関係者が集まって十分な話し合いが行われていますか。（○は一つ）

- 1 十分行われている
- 2 一応行われている
- 3 ほとんど行われていない
- 4 死が間近な患者に関わっていない

問2 患者が亡くなった後、家族の悲しみに対して施設として対応する体制は整備されていますか。（○は一つ）

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

問3 延命のための処置を開始しないことや処置を中止することを話し合えるような倫理委員会やコンサルテーションチームはありますか。（○は一つ）

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

問4 患者が治療の選択について自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいかあるいは受けたくないか、自分で判断できなくなった場合に備えて代わりに誰に判断してもらいたいかをあらかじめ記載する書面（事前指示書）を使用していますか。（○は一つ）

- 1 している
- 2 していない

問5 （仮に、）施設として事前指示書を用いる場合に、どのような時期に患者や家族に説明をすることと示すのが適切だと思いますか。（○はいくつでも）

- 1 治療困難な病気と診断されたとき
- 2 治療方針が大きく変わったとき（例：根治的治療をやめるとき）
- 3 病気の進行に伴い、死期が迫っているとき
- 4 患者や家族から終末期医療について相談があったとき
- 5 その他（ ）
- 6 わからない

問6 可能な限り疼痛やその他の不快な症状を緩和し、患者・家族の精神的・社会的な援助も含めた総合的な医療及びケアを行う緩和ケアチームがありますか。(○は一つ)

- 1 ある 2 ない
- 3 固定したチームはないが、多職種で対応する体制がある

問7 厚生労働省の「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」を使用していますか。(○は一つ)

- 1 使用している 2 知っているが使用していない 3 知らない

問8 問7以外に、学会等により作成された終末期医療に関するガイドラインを使用していますか。(○は一つ)

- 1 使用している(具体的に)
- 2 ガイドラインがあることは知っているが使用していない
- 3 ガイドラインがあることを知らない

問9 あなたの施設の職員に対して、終末期医療に関する教育・研修を行っていますか。(○は一つ)

- 1 行っている 2 行っていない 3 どちらとも言えない

ご協力くださりまして、ありがとうございました。

人生の最終段階における医療に関する意識調査（案）

医師票

2部構成になっております。第1部では、人生の最終段階における医療に関して医療職としてのご対応やご意見を伺います。

問1 あなたの担当される患者でお亡くなりになる方はおよそ何名くらいですか。（○は一つ）

- 1 1ヶ月に1名以上
- 2 半年に1名程度
- 3 1年に1名程度
- 4 亡くなることはまずない

問2 あなたは、担当される死が間近な患者の治療方針について、他の医師や看護・介護職員等の関係者と共に患者本人や家族と十分な話し合いを行っていますか。（○は一つ）

- 1 十分行っている
- 2 一応行っている
- 3 ほとんど行っていない
- 4 死が間近な患者に関わっていない

問3 死が間近な患者の治療方針について、医師や看護・介護職員等の間に意見の相違が起こったことがありますか。（○は一つ）

- 1 ある 2 ない 3 死が間近な患者に関わっていない

問4 （問3において1と回答した場合）院内の倫理委員会等に相談しましたか。（○は一つ）

- 1 相談した
- 2 倫理委員会等はあるが相談していない
- 3 倫理委員会等の相談するための体制がない

問5 あなたは、担当される死が間近な患者の治療方針の決定に際して、厚生労働省の「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」を参考にしていますか。（○は一つ）

- 1 参考にしている
- 2 参考にしていない
- 3 ガイドラインを知らない

4 死が間近な患者に関わっていない

問6 あなたは、担当される死が間近な患者の治療方針の決定に際して、学会等により作成された終末期医療に関するガイドラインを参考にしていますか。(○は一つ)

- 1 参考にしている
- 2 参考にしていない
- 3 ガイドラインを知らない
- 4 死が間近な患者に関わっていない

問7 もしあなたの患者が以下のような病状になった場合、どのような医療をすすめますか。

－患者の病状－
 末期がんと診断され、状態は悪化し、今は食事がとりにくい、呼吸が苦しいといった状態です。しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。
 －医師の見解－
 「回復の見込みはなく、さらに状態は徐々に悪化して死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問7-1 どこで療養することをすすめますか。(○は一つ)

- 1 医療機関
- 2 介護施設
- 3 居宅

問7-2 下記ア～クの治療をすすめますか。(○はそれぞれ一つ)

	すすめる	すすめない	わからない
ア 副作用はあるが、多少なりとも悪化を遅らせることを期待して、抗がん剤や放射線による治療			
イ 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			
ウ 口から十分な水分をとれなくなった場合の点滴			
エ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、太い血管に針で管を刺して栄養剤を入れること(中心静脈栄養)			
オ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)			
カ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直			

	接管を取り付け、流動食を入れること（胃ろう）			
キ	呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること（言葉を発声できなくなります）			
ク	心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置（心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと）			

問 8 あなたは、終末期の定義や、延命治療の不開始、中止等を行う場合の判断基準について、どう考えますか。（○は一つ）

- 1 詳細な基準を示すべきである。
- 2 大まかな基準を作り、それに則った詳細な方針は、医師又は医療・ケアチームが患者・家族等と十分に検討して決定すればよい。
- 3 一律な基準は必要なく、医師又は医療・ケアチームが患者・家族等と十分に検討して方針を決定すればよい。
- 4 わからない
- 5 その他（具体的に _____)

(補問) (1 又は 2 と回答した方) 基準について、どのように位置づけられるのが適切と考えますか。（○は一つ）

- 1 法律に定めるべきである
- 2 法律ではなく専門家によって作成されたガイドライン等で示すべきである
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に _____)

第 2 部では、一般国民としての個人的なご意見を伺います。

<人生の最終段階における医療についてのご対応やご意見をお尋ねします。>

問 1 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族と話し合ったことがありますか。（○は一つ）

- 1 十分に話し合っている
- 2 話し合ったことがある
- 3 全く話し合ったことがない

問 2 あなたは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか。（○は一つ）

【ここから先の質問では、あなたご自身が回復の難しい状態になった場合の、医療に関するご希望を伺います。】

問7 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

－あなたの病状－

末期がんと診断されましたが、少し疲れやすいものの、食事もよくとれ、痛みもなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

－医師の見解－

「回復の見込みはなく、徐々に状態が悪化して死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問7-1 どこで療養したいですか。(○は一つ)

- 1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問7-2 これから、どのような方針での医療を希望しますか。(どの方針であっても、できるだけ痛みや呼吸の苦しさなどの不快な症状を和らげる医療は行います。)(○は一つ)

- 1 がんを治すことを目的とした医療
2 少しでも長く生きることを目的とした医療
3 自分のやりたいこと、自分の生活を優先した医療
4 このまま自然に死を迎えるような医療
5 わからない

問8 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

－あなたの病状－

末期がんと診断され、状態は悪化し、今は食事がとりにくい、呼吸が苦しいといった状態です。しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

－医師の見解－

「回復の見込みはなく、さらに状態は徐々に悪化して死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問8-1 どこで療養したいですか。(○は一つ)

- 1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 8-2 下記ア～クの治療を望みますか。(○はそれぞれ一つ)

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない
ア 副作用はあるが、多少なりとも悪化を遅らせることを期待して、抗がん剤や放射線による治療			
イ 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			
ウ 口から十分な水分をとれなくなった場合の点滴			
エ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、太い血管に針で管を刺して栄養剤を入れること（中心静脈栄養）			
オ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること（経鼻栄養）			
カ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること（胃ろう）			
キ 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること（言葉を発声できなくなります）			
ク 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置（心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと）			

問 9 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

—あなたの病状—

慢性の重い心臓病が進行して悪化し、今は食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態です。しかし、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

—医師の見解—

「回復の見込みはなく、徐々に悪化して死に至る。」とのこと。

お考えに近いものを選んでください。

問 9-1 どこで療養したいですか。(○は一つ)

1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 9-2 下記ア～キの治療を望みますか。(○はそれぞれ一つ)

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない
ア 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			
イ 口から十分な水分をとれなくなった場合の点滴			
ウ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、太い血管に針で管を刺して栄養剤を入れること(中心静脈栄養)			
エ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)			
オ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)			
カ 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなります)			
キ 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)			

問 10 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

—あなたの病状—

認知症が進行して悪化し、自分の居場所や家族の顔が分からず、食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態にまで衰弱が進んでいます。

—医師の見解—

「回復の見込みはなく、徐々に悪化して肺炎などで死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問 10-1 どこで療養したいですか。(○は一つ)

1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 10-2 下記ア～キの治療を望みますか。(○はそれぞれ一つ)

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない
ア 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			

イ	口から十分な水分をとれなくなった場合の点滴			
ウ	口から十分な栄養をとれなくなった場合、太い血管に針で管を刺して栄養剤を入れること（中心静脈栄養）			
エ	口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること（経鼻栄養）			
オ	口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること（胃ろう）			
カ	呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること（言葉を発声できなくなります）			
キ	心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置（心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと）			

問 11 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

<p>－あなたの病状－ 交通事故で強く頭を打ち、既に半年間以上意識がなく、管から栄養をとっている状態ですが、衰弱が進んでいます。</p> <p>－医師の見解－ 「回復の見込みはなく、いずれ肺炎などで死に至る。」とのことです。</p>
--

お考えに近いものを選んでください。

問 11-1 どこで療養したいですか。（○は一つ）

- 1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 11-2 下記ア～ウの治療を望みますか。（○はそれぞれ一つ）

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない
ア 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			
イ 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること（言葉を発声できなくなります）			
ウ 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置（心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと）			

問 12 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

－あなたの病状－
 交通事故で全身を強く打ち、一時呼吸も心臓の動きもとまった状態になりましたが、処置により心臓の動きは戻りました。集中治療室に入って2週間が経過した現在、意識はなく、気管から管を入れてつけている人工呼吸器がなければ呼吸ができません。栄養や薬などを入れるため、首から点滴の管が入っています。

－医師の見解－
 「あらゆる治療を行っているが、効果がなく、このまま徐々に死に至る。」とのことです。

下記の治療を望みますか。(○は一つ)

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない
薬の量や呼吸の補助のための機械の設定を増やすなどの更なる治療			

<フェースシート>

最後に、あなたご自身のことについてお答えください。

1 性別

- 1 男性 2 女性

2 満年齢

- 1 20-24 歳 7 50-54 歳
 2 25-29 歳 8 55-59 歳
 3 30-34 歳 9 60-64 歳
 4 35-39 歳 10 65-69 歳
 5 40-44 歳 11 70-74 歳
 6 45-49 歳 12 75 歳以上

3 婚姻状況

- 1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別

4 同居している方はいらっしゃいますか

- 1 いる 2 いない

(補問) (1 と回答された方) 同居しているのはどなたですか。あてはまる回答全てに○をつけてください。

- 1 夫又は妻 6 娘の夫
2 父母 7 兄弟姉妹
3 息子 8 孫
4 娘 9 その他の親族
5 息子の妻 10 その他

5 あなたは最近 5 年間に病気や怪我で入院しましたか。(○は一つ)

- 1 入院した 2 入院していない

6 身近なご家族で最近 5 年間に病気や怪我で入院した方はいましたか。

- 1 いる 2 いない

7 あなたは、最近 5 年間に身近な大切な人の死を経験しましたか。(○はいくつでも)

- 1 家族を亡くした
2 親戚を亡くした
3 友人を亡くした
4 経験していない

8 あなたの診療科をお答えください (○は一つ)

- 1 内科 10 泌尿器科
2 小児科 11 脳神経外科
3 皮膚科 12 放射線科
4 精神科 13 麻酔科
5 外科 14 病理
6 整形外科 15 臨床検査
7 産婦人科 16 救急科
8 眼科 17 形成外科
9 耳鼻咽喉科 18 リハビリテーション科

長い間ご協力くださりまして、ありがとうございました。

人生の最終段階における医療に関する意識調査（案）

看護師票

2 部構成になっております。第 1 部では、人生の最終段階における医療に関して医療職としてのご対応やご意見を伺います。

問 1 あなたの担当される患者でお亡くなりになる方はおよそ何名くらいですか。（○は一つ）

- 1 1ヶ月に1名以上
- 2 半年に1名程度
- 3 1年に1名程度
- 4 亡くなることはまずない

問 2 あなたは、担当される死が間近な患者の治療方針について、医師や看護・介護職員等の関係者と共に患者本人や家族と十分な話し合いを行っていますか。（○は一つ）

- 1 十分行っている
- 2 一応行っている
- 3 ほとんど行っていない
- 4 死が間近な患者に関わっていない

問 3 死が間近な患者の治療方針について、医師や看護・介護職員等の間に意見の相違が起こったことがありますか。（○は一つ）

- 1 ある
- 2 ない
- 3 死が間近な患者に関わっていない

問 4 （問 3 において 1 と回答した場合）院内の倫理委員会等に相談しましたか。（○は一つ）

- 1 相談した
- 2 倫理委員会等はあるが相談していない
- 3 倫理委員会等の相談するための体制がない

問 5 あなたは、担当される死が間近な患者の治療方針の決定に際して、厚生労働省の「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」を参考にしていますか。（○は一つ）

- 1 参考にしている
- 2 参考にしていない
- 3 ガイドラインを知らない
- 4 死が間近な患者に関わっていない

問6 あなたは、担当される死が間近な患者の治療方針の決定に際して、学会等により作成された終末期医療に関するガイドラインを参考にしていますか。(○は一つ)

- 1 参考にしている
- 2 参考にしていない
- 3 ガイドラインを知らない
- 4 死が間近な患者に関わっていない

問7 もしあなたの患者が以下のような病状になった場合、どのような医療をすすめますか。

－患者の病状－
 末期がんと診断され、状態は悪化し、今は食事がとりにくい、呼吸が苦しいといった状態です。しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。
 －医師の見解－
 「回復の見込みはなく、さらに状態は徐々に悪化して死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問7-1 どこで療養することをすすめますか。(○は一つ)

- 1 医療機関
- 2 介護施設
- 3 居宅

問7-2 下記ア～クの治療をすすめますか。(○はそれぞれ一つ)

	すすめる	すすめない	わからない
ア 副作用はあるが、多少なりとも悪化を遅らせることを期待して、抗がん剤や放射線による治療			
イ 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			
ウ 口から十分な水分をとれなくなった場合の点滴			
エ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、太い血管に針で管を刺して栄養剤を入れること(中心静脈栄養)			
オ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)			
カ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)			
キ 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につな			

- 1 作成している 2 作成していない

問3 あなたは、治療の選択について自分で判断できなくなった場合には、誰に、医師又は医療・ケアチームと相談して決めてもらいたいですか。(○は一つ)

- 1 家族等の誰かに相談するのではなく、自分があらかじめどのような治療を受けたいか、受けたくないかなどを記載した書面に従って、医師又は医療・ケアチームで決めてほしい
- 2 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている一人の方が代表して医師又は医療・ケアチームと相談して決めてほしい
- 3 家族等が集まって話し合い、医師又は医療・ケアチームと相談して決めてほしい
- 4 家族等の誰かに相談するのではなく、専門家である医師又は医療・ケアチームで決めてほしい
- 5 わからない

問4 あなたは、どのような治療を受けたいかあるいは受けたくないか自分で判断できなくなった場合に備えて、家族等の中から、あなたに代わって判断してもらう人をあらかじめ決めておくことについてどのように思いますか。(○は一つ)

- 1 賛成である 2 反対である 3 わからない

問5 前の問4とは逆に、家族等から、治療の選択について代わって判断してもらいたいと頼まれた場合、引き受けますか。(○は一つ)

- 1 引き受ける 2 引き受けようとは思わない 3 わからない

問6 あなたは、自分が判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、受けたくないか、あるいは、あなたに代わって誰に判断してほしいかをあらかじめ記載した書面について、どのように扱われるのがよいと思いますか。(○は一つ)

- 1 そのような書面に従って治療方針を決定することを法律に定めてほしい
- 2 書面がある時はそこに記載した希望を尊重して、家族等と相談することなく医師又は医療・ケアチームが治療方針を決定してほしいが、法律の制定は必要ない
- 3 書面がある時はそこに記載した希望を尊重して、医師又は医療・ケアチームが家族等と相談の上治療方針を決定してほしいが、法律の制定は必要ない
- 4 その他(具体的に)
- 5 わからない

【ここから先の質問では、あなたご自身が回復の難しい状態になった場合の、医療に関するご希望を伺います。】

問 7 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

－あなたの病状－

末期がんと診断されましたが、少し疲れやすいものの、食事もよくとれ、痛みもなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

－医師の見解－

「回復の見込みはなく、徐々に状態が悪化して死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問 7-1 どこで療養したいですか。(○は一つ)

- 1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 7-2 これから、どのような方針での医療を希望しますか。(どの方針であっても、できるだけ痛みや呼吸の苦しきなどの不快な症状を和らげる医療は行います。)(○は一つ)

- 1 がんを治すことを目的とした医療
2 少しでも長く生きることを目的とした医療
3 自分のやりたいこと、自分の生活を優先した医療
4 このまま自然に死を迎えるような医療
5 わからない

問 8 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

－あなたの病状－

末期がんと診断され、状態は悪化し、今は食事がとりにくい、呼吸が苦しいといった状態です。しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

－医師の見解－

「回復の見込みはなく、さらに状態は徐々に悪化して死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問 8-1 どこで療養したいですか。(○は一つ)

- 1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 8-2 下記ア～クの治療を望みますか。(○はそれぞれ一つ)

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない
ア 副作用はあるが、多少なりとも悪化を遅らせることを期待して、抗がん剤や放射線による治療			
イ 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			
ウ 口から十分な水分をとれなくなった場合の点滴			
エ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、太い血管に針で管を刺して栄養剤を入れること(中心静脈栄養)			
オ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)			
カ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)			
キ 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなります)			
ク 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)			

問 9 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

—あなたの病状—

慢性の重い心臓病が進行して悪化し、今は食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態です。しかし、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

—医師の見解—

「回復の見込みはなく、徐々に悪化して死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問 9-1 どこで療養したいですか。(○は一つ)

- 1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 9-2 下記ア～キの治療を望みますか。(○はそれぞれ一つ)

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない
ア 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			
イ 口から十分な水分をとれなくなった場合の点滴			
ウ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、太い血管に針で管を刺して栄養剤を入れること(中心静脈栄養)			
エ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)			
オ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)			
カ 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなります)			
キ 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)			

問 10 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

<p>—あなたの病状—</p> <p>認知症が進行して悪化し、自分の居場所や家族の顔が分からず、食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態にまで衰弱が進んでいます。</p> <p>—医師の見解—</p> <p>「回復の見込みはなく、徐々に悪化して肺炎などで死に至る。」とのことです。</p>

お考えに近いものを選んでください。

問 10-1 どこで療養したいですか。(○は一つ)

- 1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 10-2 下記ア～キの治療を望みますか。(○はそれぞれ一つ)

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない

ア	肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			
イ	口から十分な水分をとれなくなった場合の点滴			
ウ	口から十分な栄養をとれなくなった場合、太い血管に針で管を刺して栄養剤を入れること（中心静脈栄養）			
エ	口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること（経鼻栄養）			
オ	口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること（胃ろう）			
カ	呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること（言葉を発声できなくなります）			
キ	心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置（心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと）			

問 11 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

<p>－あなたの病状－</p> <p>交通事故で強く頭を打ち、既に半年間以上意識がなく、管から栄養をとっている状態ですが、衰弱が進んでいます。</p> <p>－医師の見解－</p> <p>「回復の見込みはなく、いずれ肺炎などで死に至る。」とのことです。</p>
--

お考えに近いものを選んでください。

問 11-1 どこで療養したいですか。（○は一つ）

- 1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 11-2 下記ア～ウの治療を望みますか。（○はそれぞれ一つ）

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない
ア			
イ			
ウ			

問 12 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

<p>－あなたの病状－</p> <p>交通事故で全身を強く打ち、一時呼吸も心臓の動きもとまった状態になりましたが、処置により心臓の動きは戻りました。集中治療室に入って2週間が経過した現在、意識はなく、気管から管を入れてつけている人工呼吸器がなければ呼吸ができません。栄養や薬などを入れるため、首から点滴の管が入っています。</p> <p>－医師の見解－</p> <p>「あらゆる治療を行っているが、効果がなく、このまま徐々に死に至る。」とのことです。</p>

お考えに近いものを選んでください。

下記の治療を望みますか。(○は一つ)

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない
薬の量や呼吸の補助のための機械の設定を増やすなどの更なる治療			

<フェースシート>

最後に、あなたご自身のことについてお答えください。

1 性別

- 1 男性 2 女性

2 満年齢

- 1 20-24 歳 7 50-54 歳
 2 25-29 歳 8 55-59 歳
 3 30-34 歳 9 60-64 歳
 4 35-39 歳 10 65-69 歳
 5 40-44 歳 11 70-74 歳
 6 45-49 歳 12 75 歳以上

3 婚姻状況

- 1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別

4 同居している方はいらっしゃいますか

- 1 いる 2 いない

(補問) (1 と回答された方) 同居しているのはどなたですか。あてはまる回答全てに○をつけてください。

- | | |
|--------|----------|
| 1 夫又は妻 | 6 娘の夫 |
| 2 父母 | 7 兄弟姉妹 |
| 3 息子 | 8 孫 |
| 4 娘 | 9 その他の親族 |
| 5 息子の妻 | 10 その他 |

5 あなたは最近 5 年間に病気や怪我で入院しましたか。(○は一つ)

- 1 入院した 2 入院していない

6 身近なご家族で最近 5 年間に病気や怪我で入院した方はいましたか。

- 1 いる 2 いない

7 あなたは、最近 5 年間に身近な大切な人の死を経験しましたか。(○はいくつでも)

- 1 家族を亡くした
2 親戚を亡くした
3 友人を亡くした
4 経験していない

長い間ご協力くださりまして、ありがとうございました。

人生の最終段階における医療に関する意識調査（案）

介護職員票

2部構成になっております。第1部では、人生の最終段階における医療に関して介護職としてのご対応やご意見を伺います。

問1 あなたの担当される入所者でお亡くなりになる方はおよそ何名くらいですか。（○は一つ）

- 1 1ヶ月に1名以上
- 2 半年に1名程度
- 3 1年に1名程度
- 4 亡くなることはまずない

問2 あなたは、担当される死が間近な入所者の治療方針について、医師や看護・介護職員等の関係者と共に患者本人や家族と十分な話し合いを行っていらっしゃいますか。（○は一つ）

- 1 十分行っている
- 2 一応行っている
- 3 ほとんど行っていない
- 4 死が間近な入所者に関わっていない

問3 死が間近な入所者の治療方針について、医師や看護・介護職員等の間に意見の相違が起こったことがありますか。（○は一つ）

- 1 ある 2 ない 3 死が間近な入所者に関わっていない

問4（問3において1と回答した場合）施設内の倫理委員会等に相談しましたか。（○は一つ）

- 1 相談した
- 2 倫理委員会等はあるが相談していない
- 3 倫理委員会等の相談するための体制がない

問5 あなたは、担当される死が間近な入所者の治療方針の決定に際して、厚生労働省の「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」を参考にしていますか。（○は一つ）

- 1 参考にしている

- 2 参考にしていない
- 3 ガイドラインを知らない
- 4 死が間近な入所者に関わっていない

問6 あなたは、担当される死が間近な入所者の治療方針の決定に際して、学会等により作成された終末期医療に関するガイドラインを参考にしていますか。(○は一つ)

- 1 参考になっている
- 2 参考にしていない
- 3 ガイドラインを知らない
- 4 死が間近な入所者に関わっていない

問7 もしあなたの入所者が以下のような病状になった場合、どのような医療をすすめますか。

－入所者の病状－
 末期がんと診断され、状態は悪化し、今は食事がとりにくい、呼吸が苦しいといった状態です。しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。
 －医師の見解－
 「回復の見込みはなく、さらに状態は徐々に悪化して死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問7-1 どこで療養することをすすめますか。(○は一つ)

- 1 医療機関
- 2 介護施設
- 3 居宅

問7-2 下記ア～クの治療をすすめますか。(○はそれぞれ一つ)

	すすめる	すすめない	わからない
ア 副作用はあるが、多少なりとも悪化を遅らせることを期待して、抗がん剤や放射線による治療			
イ 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			
ウ 口から十分な水分をとれなくなった場合の点滴			
エ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、太い血管に針で管を刺して栄養剤を入れること(中心静脈栄養)			
オ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食			

	を入れること（経鼻栄養）			
カ	口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること（胃ろう）			
キ	呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること（言葉を発声できなくなります）			
ク	心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置（心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと）			

問 8 あなたは、終末期の定義や、延命治療の不開始、中止等を行う場合の判断基準について、どう考えますか。（○は一つ）

- 1 詳細な基準を示すべきである。
- 2 大まかな基準を作り、それに則った詳細な方針は、医師又は医療・ケアチームが入所者・家族等と十分に検討して決定すればよい。
- 3 一律な基準は必要なく、医師又は医療・ケアチームが入所者・家族等と十分に検討して方針を決定すればよい。
- 4 わからない
- 5 その他（具体的に _____ ）

（補問）（1 又は 2 と回答した方）基準について、どのように位置づけられるのが適切と考えますか。（○は一つ）

- 1 法律に定めるべきである
- 2 法律ではなく専門家によって作成されたガイドライン等で示すべきである
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に _____ ）

第 2 部では、一般国民としての個人的なご意見を伺います。

< 人生の最終段階における医療についてのご対応やご意見をお尋ねします。 >

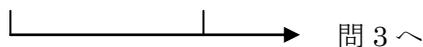
問 1 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族と話し合ったことがありますか。（○は一つ）

- 1 十分に話し合っている
- 2 話し合ったことがある
- 3 全く話し合ったことがない

問 2 あなたは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについて

どう思いますか。(○は一つ)

- 1 賛成である 2 反対である 3 わからない



(補問) 実際に書面を作成していますか。(○は一つ)

- 1 作成している 2 作成していない

問3 あなたは、治療の選択について自分で判断できなくなった場合には、誰に、医師又は医療・ケアチームと相談して決めてもらいたいですか。(○は一つ)

- 1 家族等の誰かに相談するのではなく、自分があらかじめどのような治療を受けたいか、受けたくないかなどを記載した書面に従って、医師又は医療・ケアチームで決めてほしい
- 2 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている一人の方が代表して医師又は医療・ケアチームと相談して決めてほしい
- 3 家族等が集まって話し合い、医師又は医療・ケアチームと相談して決めてほしい
- 4 家族等の誰かに相談するのではなく、専門家である医師又は医療・ケアチームで決めてほしい
- 5 わからない

問4 あなたは、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないか自分で判断できなくなった場合に備えて、家族等の中から、あなたに代わって判断してもらう人をあらかじめ決めておくことについてどのように思いますか。(○は一つ)

- 1 賛成である 2 反対である 3 わからない

問5 前の問4とは逆に、家族等から、治療の選択について代わって判断してもらいたいと頼まれた場合、引き受けますか。(○は一つ)

- 1 引き受ける 2 引き受けようとは思わない 3 わからない

問6 あなたは、自分が判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、受けたくないか、あるいは、あなたに代わって誰に判断してほしいかをあらかじめ記載した書面について、どのように扱われるのがよいと思いますか。(○は一つ)

- 1 そのような書面に従って治療方針を決定することを法律に定めてほしい
- 2 書面がある時はそこに記載した希望を尊重して、家族等と相談することなく医師又は医療・ケアチームが治療方針を決定してほしいが、法律の制定は必要ない
- 3 書面がある時はそこに記載した希望を尊重して、医師又は医療・ケアチームが家族等と相談の上治療方針を決定してほしいが、法律の制定は必要ない
- 4 その他 (具体的に)

5 わからない

【ここから先の質問では、あなたご自身が回復の難しい状態になった場合の、医療に関するご希望を伺います。】

問7 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

－あなたの病状－

末期がんと診断されましたが、少し疲れやすいものの、食事もよくとれ、痛みもなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

－医師の見解－

「回復の見込みはなく、徐々に状態が悪化して死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問7-1 どこで療養したいですか。(○は一つ)

- 1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問7-2 これから、どのような方針での医療を希望しますか。(どの方針であっても、できるだけ痛みや呼吸の苦しきなどの不快な症状を和らげる医療は行います。)(○は一つ)

- 1 がんを治すことを目的とした医療
2 少しでも長く生きることを目的とした医療
3 自分のやりたいこと、自分の生活を優先した医療
4 このまま自然に死を迎えるような医療
5 わからない

問8 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

－あなたの病状－

末期がんと診断され、状態は悪化し、今は食事がとりにくい、呼吸が苦しいといった状態です。しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

－医師の見解－

「回復の見込みはなく、さらに状態は徐々に悪化して死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問8-1 どこで療養したいですか。(○は一つ)

- 1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 8-2 下記ア～クの治療を望みますか。(○はそれぞれ一つ)

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない
ア 副作用はあるが、多少なりとも悪化を遅らせることを期待して、抗がん剤や放射線による治療			
イ 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			
ウ 口から十分な水分をとれなくなった場合の点滴			
エ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、太い血管に針で管を刺して栄養剤を入れること（中心静脈栄養）			
オ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること（経鼻栄養）			
カ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること（胃ろう）			
キ 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること（言葉を発声できなくなります）			
ク 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置（心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと）			

問 9 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

—あなたの病状—

慢性の重い心臓病が進行して悪化し、今は食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態です。しかし、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

—医師の見解—

「回復の見込みはなく、徐々に悪化して死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問 9-1 どこで療養したいですか。(○は一つ)

1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 9-2 下記ア～キの治療を望みますか。(○はそれぞれ一つ)

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない
ア 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			
イ 口から十分な水分をとれなくなった場合の点滴			
ウ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、太い血管に針で管を刺して栄養剤を入れること(中心静脈栄養)			
エ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)			
オ 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)			
カ 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなります)			
キ 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)			

問 10 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

—あなたの病状—
 認知症が進行して悪化し、自分の居場所や家族の顔が分からず、食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態にまで衰弱が進んでいます。

—医師の見解—
 「回復の見込みはなく、徐々に悪化して肺炎などで死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問 10-1 どこで療養したいですか。(○は一つ)

- 1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 10-2 下記ア～キの治療を望みますか。(○はそれぞれ一つ)

	望 む	望 ま ない	わ か ら ない
ア 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			

イ	口から十分な水分をとれなくなった場合の点滴			
ウ	口から十分な栄養をとれなくなった場合、太い血管に針で管を刺して栄養剤を入れること（中心静脈栄養）			
エ	口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること（経鼻栄養）			
オ	口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること（胃ろう）			
カ	呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること（言葉を発声できなくなります）			
キ	心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置（心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと）			

問 11 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

<p>—あなたの病状—</p> <p>交通事故で強く頭を打ち、既に半年間以上意識がなく、管から栄養をとっている状態ですが、衰弱が進んでいます。</p> <p>—医師の見解—</p> <p>「回復の見込みはなく、いずれ肺炎などで死に至る。」とのことです。</p>
--

お考えに近いものを選んでください。

問 11-1 どこで療養したいですか。（○は一つ）

- 1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問 11-2 下記ア～ウの治療を望みますか。（○はそれぞれ一つ）

	望 む	望 ま な い	わ か ら な い
ア 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること			
イ 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること（言葉を発声できなくなります）			
ウ 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置（心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと）			

問 12 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。

—あなたの病状—

交通事故で全身を強く打ち、一時呼吸も心臓の動きもとまった状態になりましたが、処置により心臓の動きは戻りました。集中治療室に入って2週間が経過した現在、意識はなく、気管から管を入れてつけている人工呼吸器がなければ呼吸ができません。栄養や薬などを入れるため、首から点滴の管が入っています。

—医師の見解—

「あらゆる治療を行っているが、効果がなく、このまま徐々に死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

下記の治療を望みますか。(○は一つ)

	望む	望まない	わからない
薬の量や呼吸の補助のための機械の設定を増やすなどの更なる治療			

<フェースシート>

最後に、あなたご自身のことについてお答えください。

1 性別

1 男性 2 女性

2 満年齢

1 20-24 歳 7 50-54 歳
2 25-29 歳 8 55-59 歳
3 30-34 歳 9 60-64 歳
4 35-39 歳 10 65-69 歳
5 40-44 歳 11 70-74 歳
6 45-49 歳 12 75 歳以上

3 婚姻状況

1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別

4 同居している方はいらっしゃいますか

- 1 いる 2 いない

(補問) (1 と回答された方) 同居しているのはどなたですか。あてはまる回答全てに○をつけてください。

- 1 夫又は妻 6 娘の夫
2 父母 7 兄弟姉妹
3 息子 8 孫
4 娘 9 その他の親族
5 息子の妻 10 その他

5 あなたは最近 5 年間に病気や怪我で入院しましたか。(○は一つ)

- 1 入院した 2 入院していない

6 身近なご家族で最近 5 年間に病気や怪我で入院した方はいましたか。

- 1 いる 2 いない

7 あなたは、最近 5 年間に身近な大切な人の死を経験しましたか。(○はいくつでも)

- 1 家族を亡くした
2 親戚を亡くした
3 友人を亡くした
4 経験していない

長い間ご協力くださりまして、ありがとうございました。